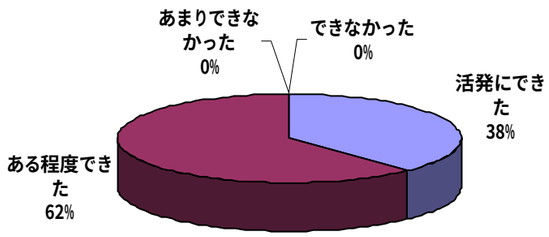
総評

最後にスーパーバイザーの宮崎大学　出口近士准教授より総評をいただきました。

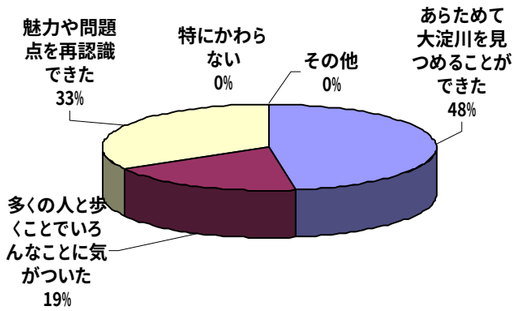
・大淀川は宮崎市民の財産です。
・我々の時代の価値を後世へ伝えていくため、しっかり検証して考えて生きましょう。

アンケート結果

グループ内での議論



リバーウォッチングで感じたことは？



〇どのような点が

- 皆さんの考え方が近い点が多いなあと感じましたね。
- 実際に歩きながら、目の前にあるものについてみなさんとたくさん話しができた。
- 改めて新しい発見があったから。
- 現場に実際行ってイメージがだいたいつかめた。

自由意見（抜粋）

- 右岸側と左岸側があまりにも対照的でした。実際歩いて間近に見ることが出来、とても勉強になりました。このワークショップが将来的に役立つことを切に希望致します。
- 今回の目的が遠い将来的なのか、近い将来（今を考える）的なのかによって意見が変わってきます。目線的には、今を見てしまって足元の事が気になってしまいました。でも、一番は元気な宮崎、美しい宮崎になってほしいと思いますので微力ながら頑張っていきたいです。
- 宮崎の宝物大淀川を後世に残してゆきたいとつくづく思いました。いい形で残していきたいです。その為にも、宮崎の景観を共に良くする為に今、何ができるか…小さな事からやっていけたらいいと思いました。

次回は、10 月 25 日 (木) 18:30～21:00
『将来像を考えよう』
大淀川周辺地区の将来をイメージしながら、景観形成上“ 大切にすること ”“ 意識すること ”を検討し、将来像を想い描きます。

〈お問い合わせ〉宮崎市役所　都市景観課　担当：宮里
ＴＥＬ　２１―１８１７　　ＦＡＸ　２６―３５２０
Ｅ－ｍａｉｌ　30keikan@city.miyazaki.miyazaki.jp

発行：平成１９年 10 月　宮崎市都市景観課

宮崎市景観モデル地区
デザインづくりワークショップだより

2号

宮崎市の顔であり緊急性の高い大淀川下流の周辺地区を対象に、地区の景観のあるべき姿や方針、景観形成ルール等を、市民と市が一緒になってワークショップ手法で検討しています。

平成 19 年 9 月 29 日（土）に、第２回ワークショップを開催しました。第１回ワークショップの結果を基に、４グループに分かれ、実際に歩いてチェック・確認をしていきました。

ワークショップの流れ

第1回　8 月 22 日（水）18：30～　済
『大淀川の大事な景観を選ぼう』
〇宮崎市・大淀川の景観づくりについて情報提供
〇大事にしたい景観や気になる景観の抽出

第2回　9 月 29 日（土）9：00～　ココ
『川辺を歩いて確かめよう』
〇現地確認
〇問題点、特性・課題の検討

10 月 25 日（木）18:30

第3回　10 月 25 日（木）予定
『将来像を考えよう』
〇将来像の検討
〇方針の検討

第4回　11 月下旬
『実現に向けて話そう』
〇将来像実現に必要な事項の検討

プログラム

09：00	1．開会･あいさつ
	2．本日のプログラム説明
09：10	3．前回の振り返り
	4．リバーウォッチング ルートの説明
09：20	5．グループ分け 関係づくり
09：35	6．リバーウォッチングの ポイント
09：45	7．リバーウォッチング
11：20	8．まとめ
12：00	9．発　表
12：30	10．閉　会

リバーウォッチング

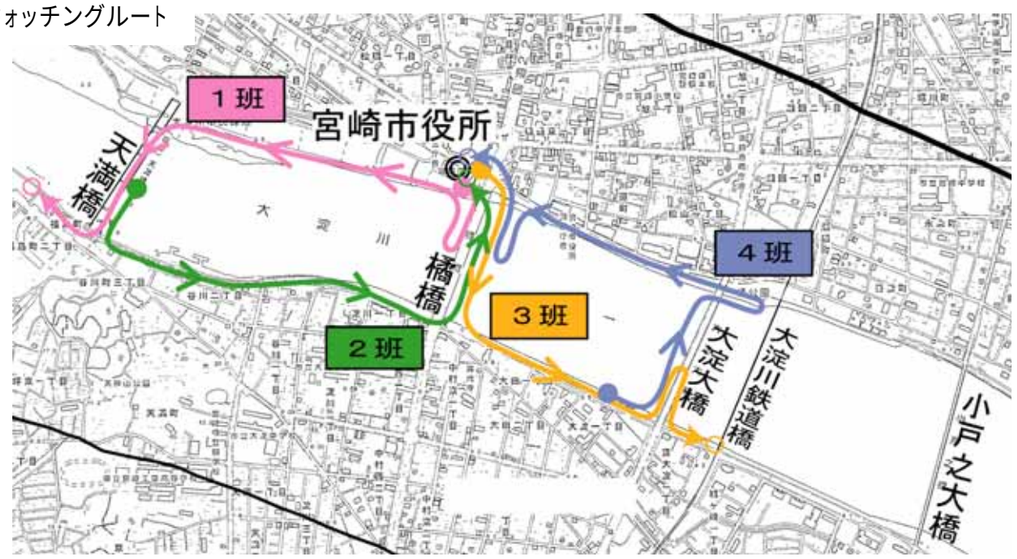
第 1 回ワークショップの結果を参考に、４つのルートを設定してグループに分かれて現地確認をしました。グループ内で役割分担（タイムキーパー、パノラマ写真にチェック係り、書記、ポラロイドカメラ係、デジタルカメラ係）をして、次の点に注意し話し合いながら確認していきました。

①第 1 回ワークショップ結果を確認する
第 1 回ワークショップでまとめた景観項目ごとの内容を参考にしながら、気になるものをチェックしましょう。

②何故、そのように感じるのか
・何故良いのか
・何故悪いのか
の理由、原因を考えてみましょう。

③どうなれば良いか、将来どうあって欲しいか
・良いものは良いままで
・悪いものはどうなれば良いか
・将来どうあって欲しいか
将来をイメージしましょう。

◆リバーウォッチングルート



◆主な意見

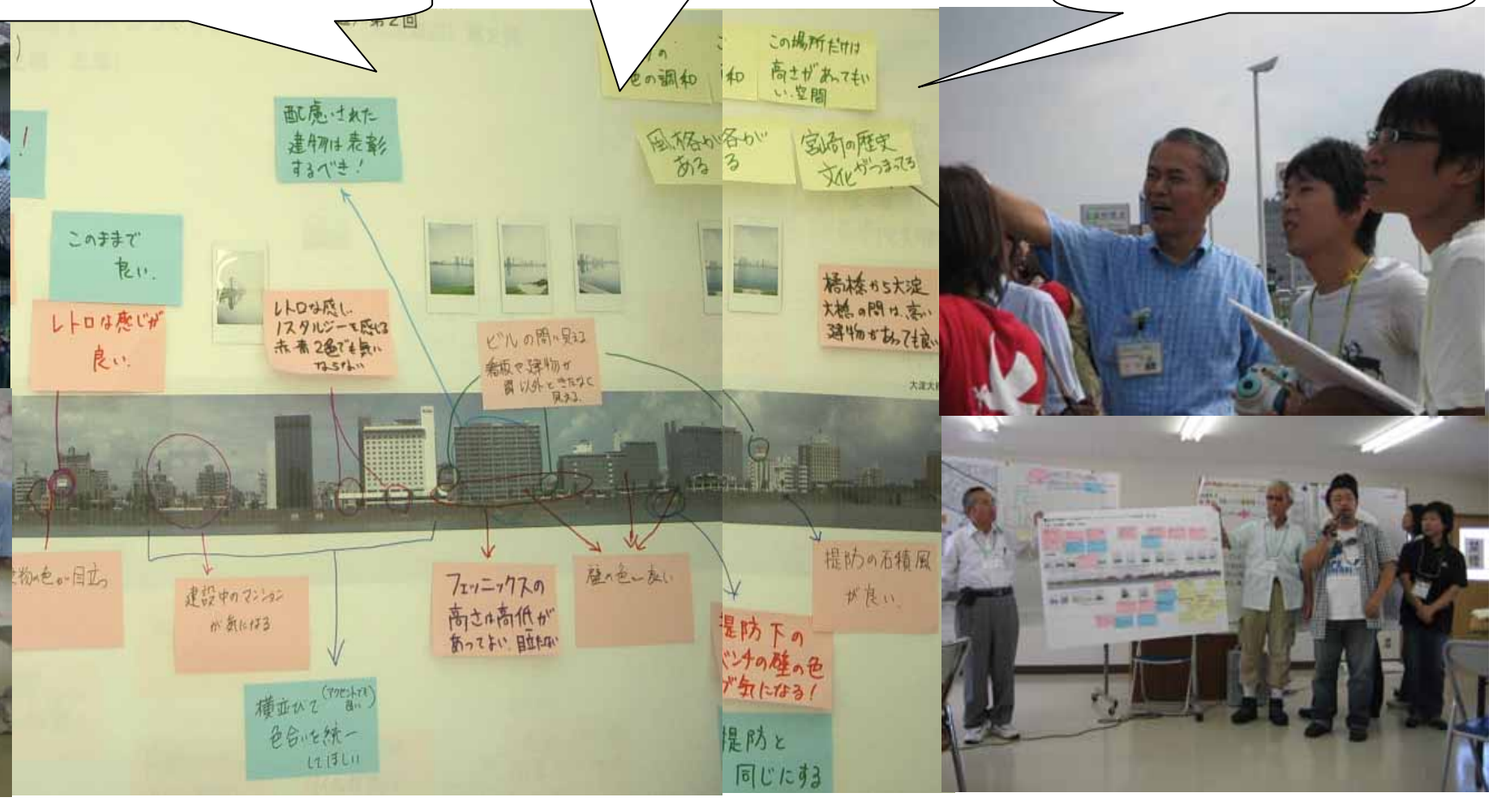
主な意見は次の通りです。個別の詳細結果は、第 3 回ワークショップにてお知らせいたします。是非、ご参加ください。

左岸（市街地側：特に天満橋～橘橋～大淀大橋）は宮崎の発展を考えると、ある程度の高さは仕方ない（ただし現状を超えてはいけない）。
右岸は天神山や遠くの山並みを大切にして守る。

建物や広告物等は、周辺とのバランスを考えた色や高さとする（ルール化、規制強化）。

空・海・川の広がりを大切にする。

宮崎観光ホテルは歴史があり風格を感じる建物である。



河川敷・堤防は、芝生や木陰などにより歩いて快い空間が良い。
（右岸の堤防は手入れが手薄）

夜のネオン広告や使わない広告が気になる。

鉄橋の古さがよい。